

運航者撤去作業計画

(空港管理者作成版)

1. 空港管理者撤去作業体制

(※必要に応じて組織図等を添付すること。夜間等の緊急連絡先を含めること。)

(1) 撤去責任者

組織名	那覇空港事務所
所属・役職	空港長
電話番号	098-857-1101

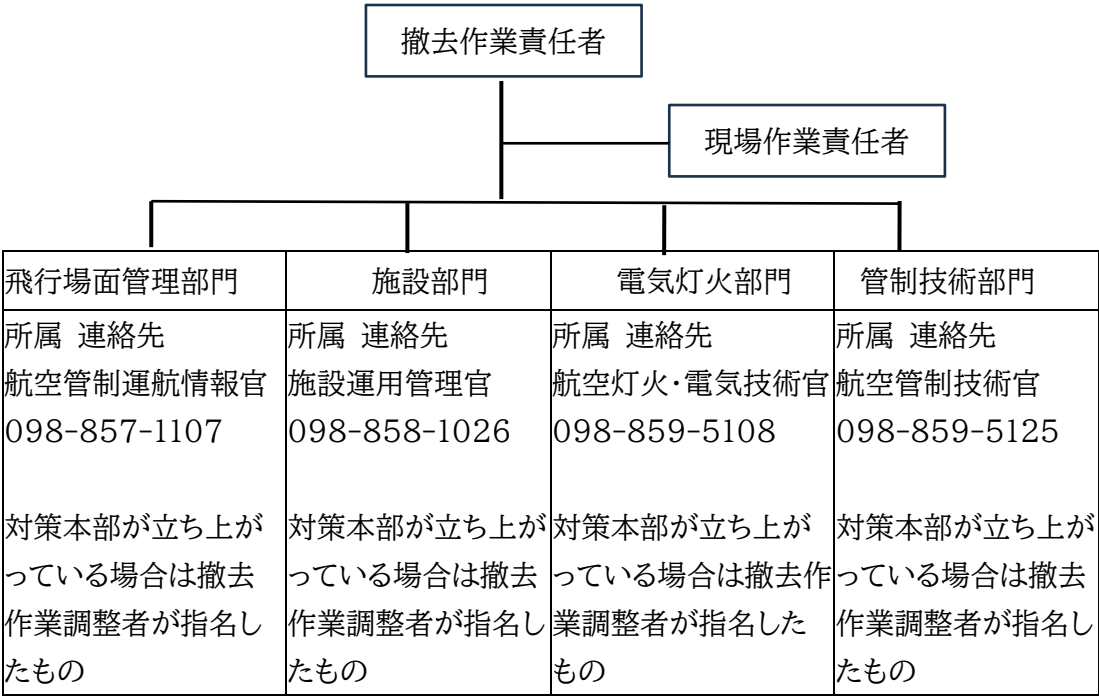
(2) 現場作業責任者

組織名	那覇空港事務所
所属・役職	施設部長
電話番号	098-857-1101

(3) 撤去作業調整者

組織名	那覇空港事務所
所属・役職	航空管制保安部長
電話番号	098-857-1101

運航者撤去作業体制



(4) 撤去作業対象としている航空機型式

参考例

航空機の分類	型式例	備 考
小型機	B350、HDJT、DHC DHC6(コード B 以下)	過去 3 年間で発着実績ある機材
中・大・超大型機	コード C/D/E	定期便として就航している機材
回転翼機	R22、B212、S61	過去 3 年間で発着実績ある機材
滑空機		当空港では想定しない

2. 重機等並びに要員リスト

(1) 重機等リスト

空港内外で航行不能航空機撤去に使用可能である(クレーン(レッカー)車、スリングロープ、台車、敷板等のリストを記入すること。

機材の種類	救難照明車 1台
場所	制限区域内
機材提供先	那覇空港事務所 航空保安防災課
搬入方法・経路等	
時間(目安)	
その他	

機材の種類	災害時用トラクタショベル(自動運転車両)2台
場所	管理区域
機材提供先	那覇空港事務所 施設運用管理官(基本施設担当)
搬入方法・経路等	12番又は13番ゲート(保安防災課と調整したゲート)
時間(目安)	約60～180分
その他	昼・夜により大きく時間が異なる。作業員(操作員)の召集およびアタッチメント交換に時間を要する。操作員は熟練者である業者によるため、民間同士の業務契約が別途必要。

機材の種類	カラーコーン(36本)
場所	管理区域
機材提供先	那覇空港事務所 施設運用管理官(基本施設担当)
搬入方法・経路等	制限区域内の官用車庫前から車両に搭載し現場へ
時間(目安)	約10～60分
その他	昼・夜、官執勤務時間内外により大きく時間が異なる。

機材の種類	プレースケート
場所	統合庁舎1階
機材提供先	那覇空港事務所 航空管制運航情報官
搬入方法・経路等	車両に搭載し7番ゲートから制限区域内へ入り現場へ
時間(目安)	約15分～20分程度
その他	搭載する車両について調整が必要となる可能性がある

機材の種類	ユニバーサルトーパー
場所	統合庁舎1階
機材提供先	那覇空港事務所 航空管制運航情報官
搬入方法・経路等	車両に搭載し7番ゲートから制限区域内へ入り現場へ
時間(目安)	約15分～20分程度
その他	搭載する車両について調整が必要となる可能性がある

事態発生時にレンタルその他により調達を予定されているもの

機材の種類	クレーン車(75t ～250t)
場所	沖縄県那覇市港町 1-25-6
機材提供先	(有)金功重機 TEL:098-866-6286
搬入方法・経路等	自走 経路:条件による
時間(目安)	条件による(おおよそ40分)※特殊車両以外に限る
その他	最大 400tクレーン所有 在庫状況に応じて対応不可の場合あり。

機材の種類	クレーン車(75t ～250t)
場所	沖縄県那覇市曙2丁目3-20
機材提供先	天久重機 TEL:098-861-2833
搬入方法・経路等	自走 経路:条件による
時間(目安)	条件による(営業時間に限り、おおよそ 180 分)
その他	最大 400tクレーン所有 在庫状況に応じて対応不可の場合あり。

機材の種類	フォークリフト(25 t)、ショベルカー、敷板(養生)、照明車
場所	沖縄県糸満市字北波平 257-1
機材提供先	ST レンタル TEL:098-851-3744
搬入方法・経路等	自走もしくはトレーラー運搬 経路:条件による
時間(目安)	条件による(営業時間に限り、おおよそ 180 分)
その他	土木機械所有 在庫状況に応じて対応不可の場合あり。

機材の種類	敷板(養生)
場所	沖縄県那覇市港町 3 丁目 5 番 1 号
機材提供先	沖阪産業(株) TEL:098-862-2321
搬入方法・経路等	保管場所が複数あり、そのときの使用状況による。
時間(目安)	条件による(おおよそ30分)
その他	在庫状況に応じて対応不可の場合あり。

機材の種類	照明車
場所	沖縄県中頭郡中城村久場 1991 番地
機材提供先	町田機工(株) TEL:098-895-5803
搬入方法・経路等	自走 国道329号線を南下
時間(目安)	状況による(おおよそ40分)
その他	建設機械各種レンタル 在庫状況に応じて対応不可の場合あり。

機材の種類	照明車
場所	沖縄県豊見城市伊良波 622
機材提供先	ニッケン・リース株式会社 TEL:098-856-8833
搬入方法・経路等	自走:ニッケン・リース(株)那覇営業所→県道 256 号北上→ 名嘉地交差点左折→国道 331 号→瀬長交差点右折→ 国道 331 号北上→安次嶺交差点左折→那覇空港
時間(目安)	想定時間:30 分
その他	土木機械所有 在庫状況に応じて対応不可の場合あり。 ※営業時間中(平日 08:00~17:00 のみ)調整可能。 在庫状況に応じて対応不可の場合あり。

機材の種類	カラーコーン
場所	沖縄県沖縄市字登川 950-1
機材提供先	(株)セフテック TEL:098-921-3170
搬入方法・経路等	自走 国道331号線を経由し330号線を南下
時間(目安)	状況による(おおよそ60分)
その他	在庫状況に応じて対応不可の場合あり。

空港外から大型機材を搬入する際には、当該業者の所在地から空港への搬入ルートを示す図及び空港内の搬入ルート(空港内を滑走路両端側、中央付近等とエリア分けしてそこへの搬入ルート、敷板が必要な場所等を把握しておくこと)を示す図を準備すること。

基本的にクレーン等の重機運用会社がこれまでも通行許可等を取得しているもので、そのノウハウを活かすことがよいと考えています。まずは空港にクレーン運搬したことがない会社を調査し、当該社と調整することが重要であると考えます。

周辺空港と共有する撤去機材、他空港管理者が所有する撤去機材でレンタル可能な機材についてリスト化しておくこと。

(2)機体移動に協力を得られる可能性がある空港内外の事業者リスト

社名	事業内容及び協力可能な作業	備考
調整中		

(3)機体移動に協力を得られる可能性がある作業要員数

協力が得られるか否かは状況によると考えられるので最大数と条件等を把握すること。
パイロット、整備士等の資格所有者についても参考として把握すること。

社名/所属	人数	備考
調整中		

3. 撤去作業に関する方法

作業項目及び役割分担

(※必要に応じて項目及び作業概要を追加すること。)

項目	担当	作業概要	時間(目安)
整備担当 現場派遣	空港管理者 空港管理者から空港内事業者等へ協力依頼	空港内事業所から空港管理者の車両の先導により現場へ向かう	15 分
航行不能航空機の状況調査	空港管理者 空港管理者から空港内事業者等へ協力依頼	・航行不能航空機の状態確認 (電気系統、液依の流出) ・燃料等流出の状態確認 (流出防止措置、路面清掃) ・機体及びエンジンメーカーからの情報収集 ・危険物等の搭載状況確認 ・重量及び重心位置の確認	30 分
リカバリーキット等の使用可否判断	空港管理者 空港管理者から空港内事業者等へ協力依頼	搬出に通常使用する設備器材以外の物品が必要か判断	10 分
空港基本施設の点検	空港管理者担当者	・滑走路点検 ・滑走路灯、中心線等の灯火点検	(30 分) 重複して作業を実施できるので 合計時間には含まない
重機等・人員の手配	空港管理者 空港管理者から空港内事業者等へ協力依頼	これまでの調査により具体的な撤去計画案を検討、それに基づき必要な機材の手配	30分
リカバリーキットの手配	空港管理者 空港管理者から空港内事業者等へ協力依頼	これまでの調査により具体的な撤去計画案を検討、それに基づき必要な機材の手配 船便を想定	720 分
重量軽減の調整	空港管理者 空港管理者から空港内事業者等へ協力依頼	・燃料等抜き取り ・郵便物、手荷物、貨物等の取り下ろし	60 分

関係機関との調整	空港管理者	・撤去に必要な行政手続等	(60分) 重複して作業を実施できるので合計時間には含まない
重機等の搬入 又はリカバリー キットの搬入	空港管理者担当者 空港管理者から空港内事業者へ協力依頼	・移動手段 ・移動機材の手配	30 分
機体の保護	空港管理者から空港内事業者へ協力依頼	・機体部品脱落防止及びエンジンの保護が必要か判断	(10 分)
撤去作業	空港管理者から空港内外事業者へ協力依頼	・機体の安定化(水平化) ・機体の持ち上げ(リフティング) ・移動に当たって保護材要否	120 分
ギアの修理又は交換(ギアの検査)	空港管理者から空港内事業者へ協力依頼	・部品等の確認 ・	(60分) 撤去作業として重複して作業を実施できるので合計時間には含まない
機体のけん引 ・けん引又はウインチ・移動式トレーラーによる移動	空港管理者から空港内外事業者へ協力依頼	・保管場所への移動	30 分
路面清掃等	空港管理者担当者	・滑走路点検 ・滑走路灯、中心線等の灯火点検	30分
合計所要時間	デボック編 リカバリー編 (リカバリーキットを使用した場合) サルベージ編※撤去作業の詳細は、【リカバリー編】による。		205 分 355 分 (1115 分)

4. 航空機からの燃料の抜き取りに関する方法

(1) 航空機からの燃料抜き取りに対応可能な事業者及びその方法(国内・国際)

事業者	抜き取り方法	連絡先
株式会社沖航燃	航空機の契約がある石油元売への確認が必要	098-857-1171
株式会社 KAFCO	多くの規定される工程や確認が必要	098-857-0050

- 消防機関を含む関係機関との連絡調整(危険物を取り扱う取扱所等)及び抜き取った燃料の処理方法等を含めること。
- 外航機の場合の抜き取り燃料の処置について税関と調整した結果を含めること

5. その他参考となる事項

撤去機材の搬出先、保管方法等

機材サイズ	一時保管場所候補	保管条件等
大型機	重篤度に応じ空港運用に影響の無い場所を選定	空港管理者が指定する場所での保管
中型機	重篤度に応じ空港運用に影響の無い場所を選定	空港管理者が指定する場所での保管
小型機	使用事業者ハンガー 小型機用スポット	基本的に使用事業者ハンガーだが不可能な場合には小型機用スポットとする。